

このコーナーでは、地域や学校で行われるイベント行事などを紹介します。皆さんの身近で行われている楽しい催しなどありましたら、企画課広報統計係（☎52-2115）までお知らせください。



楽しい読み聞かせ会 日本の古典に触れる（10月11日）

下金山小学校では、国語科の時間を活用し、読書の楽しさや聞き取る態度の育成や地域の皆さんとの交流を目的に毎月1回「読み聞かせ会」を行っています。この日は、旭川市立共栄小学校の図書ボランティアや旭川語り部の会の皆さんを招き、語りや手遊びを交えながら行われ、「いろはのかかるた奉行」の読み聞かせでは、古来のいろはに加え、現代風にアレンジされた句も読まれ、児童や地域の皆さんは食い入るように聞いていました。



大好評！フリーマーケット（10月16日）

町民体育館の指定管理者である南富良野勤労者企業組合による地域貢献と施設活性化のための自主事業として、昨年に引き続き「リサイクル・フリーマーケット」が開催されました。事前に出店者を募集し、この日開放された体育館内には15店が出店し、日用品や衣類、雑貨、おもちゃや粗大ごみに出された家具や机などのほか、新鮮な地元産の野菜やエゾカツカレーも登場し、数多くの物が展示・販売されました。来館された皆さんは、掘り出し物を我先にと購入されていました。また、にんじんや衣類のつめ放題や目玉商品の抽選会、牛乳の無料サービスもあり、フリーマーケットに華を添えていました。



100歳おめでとうございます（10月4日）

国では、毎年9月15日の「老人の日」にちなみ、100歳を迎える高齢者に内閣総理大臣から長寿のお祝い状を贈呈しています。この度、満100歳を迎えられた幾寅の西川ためさんと、特別養護老人ホーム一味園に入所されている高松幸子さんにご家族や施設関係者が見守る中、池部町長よりお祝い状と記念の銀杯が一味園で伝達されました。お二人とも大変お元気で、しっかりと手にされていました。これからもお元気で長生きしてください。



みんなのスキー場をきれいに（10月10日）

南富良野スキースポーツ少年団（加藤賢一後援会長）では、団員のボランティア精神の高揚と活動の拠点となるスキー場への感謝、一般の利用者にも気持ちよく利用してもらおうと、シーズン前にスキー場周辺の清掃奉仕活動を行っています。今年も団員や育成者、指導者の皆さん総勢30名が集まり、グループに分かれ駐車場や町道周辺に捨てられていたゴミを丁寧に拾っていました。



命を守るドクターヘリ（10月19日）

平成21年10月に旭川に配置され、道北圏で活躍しているドクターヘリの見学会が富良野消防署南富良野支署の主催により南富良野高等学校グラウンドで行われました。ドクターヘリは、重傷者の救命率を高めるために導入され、2年間（H23.9月末）で603件の出動があり、本町でも今年1月からこれまでに、9件の出動要請を行っています。

演奏で観衆を魅了（9月23日）

南富良野中学校吹奏楽部の第7回定期演奏会が同校体育館で行われました。同校吹奏楽部は、今年8月に行われた北海道吹奏楽コンクール旭川地区予選C編成の部（25人以下）で銀賞を受賞。この日は16名の部員の皆さんが、これまでに積み重ねてきた練習の成果を発揮して心地よいリズムで演奏を披露し、会場に詰めかけた皆さんを魅了していました。



収穫の秋を迎え 楽しく稲刈り（9月26日）

収穫の秋を迎えて、下金山小学校と金山小学校の全児童17名が稲刈りを体験しました。今年春に児童が植えた稲は、少し曲がったうねを隠すほど、黄金色の穂をつけ立派に育ち、児童たちを待っていました。児童の皆さんは、稲刈りの仕方や鎌の使い方などの説明を受けた後、早速鎌を手に横一列に並んで、ぬかるむ田んぼに足を取られながら、豊かに実った稲を丁寧に刈り取っていました。児童の皆さんは、刈ったり束ねたり工程ごとに、歓声をあげながら先人の苦労を体験していました。刈り取った稲は、リヤカーで下金山小学校に運び、はさ掛けして乾燥させたあと、昔ながらの足踏み脱穀機による脱穀作業をする予定です。

果敢に挑戦カヌー大会開催（9月25日）

南富良野カヌー協会（伊藤健会長）が主催する「第2回みなみふらのカヌー大会」が落合の空知川特設カヌー競技場で開催されました。大会には地元愛好者のほか札幌や旭川、釧路などの道内のカヌー愛好家67名が出場しました。約300mのコースに15ゲートを設けたスラロームとタイムを競うワイルドウォーターの2種目が各艇部門ごとに分かれ、出場者は巧みなパドル操作で難コースに挑戦していました。道内の大会としては、シーズンを締めくくる大会となることから熱の入った大会となり、地元からも昨年に引き続き、新野和志くん（落小5年）・戎家宙くん（幾小5年）の小学生ペアなども出場し、大きな声援を受けていました。



創立10周年を記念し町へ寄附（9月30日）

空知川の下流域にある滝川市と本町が、植樹を通して交流を図りながら「水源の森」づくりを進めている「緑とエコ」サポーターネット（笹木國春会長）が創立10周年を迎え、記念祝賀会が滝川市内で開催されました。祝賀会の席上、本町と滝川市それぞれ30万円が寄附され、出席した池部町長より、本町の森づくりに貢献いただいていることにお礼と感謝が述べられました。